

最新技術の導入で生産性向上を達成 技術開発に集中し品質向上を実現

身体に障がいがある方の義手や義足のほか、けがや病気で整形外科的治療が必要な方の装具の製作・販売を行っている。なかでも、同社の整形靴は、「個別の木型」と「個別のデザイン」にこだわって製作され、使用する人それぞれの症状に効果的な形状はもちろん、気に入ったデザインを1点ずつオーダーメイドで製作している。機能性重視で見た目がおそろかになりがちな整形靴もおしゃれに履けると子供から大人まで高い評価を得ている。

●所在地	北海道札幌市豊平区中の島2条12丁目1-21	●設立	2004年
●電話/FAX	011-595-7693/011-595-7694	●資本金	300万円
●URL	http://polife.sakura.ne.jp	●従業員数	8人
●代表者	代表取締役 尾田 裕彦		



最新型システムの導入で製作時間の短縮と品質安定化を両立

ものづくり補助金を活用し、最新型インソール製作システムを導入することで、製作時間の短縮と品質の安定化を実現した。これにより、従来の石膏で足の模型を作る工程が省けたほか、パソコンでCADを用いた設計ができるようになり、製作時間が約1時間も短縮することができた。さらに切削機の加工精度が飛躍的に向上したことで、削り出されたインソールの二次加工の負荷が低減し、全体の作業時間の短縮と品質の安定化が図られ、製品の生産性が向上した。



GOTEC社製のCAD/CAMシステム

技術開発に集中し、高い要求に対応できる技術力を獲得

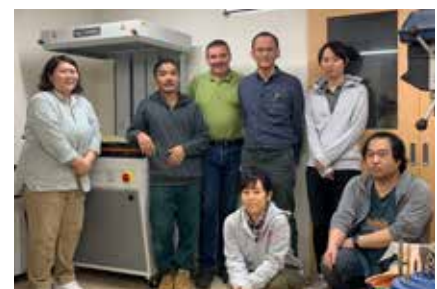
インソール製作システムの導入により、熟練工に依存していた切削工程の時間が短縮でき、技術開発に多くの時間を割くことができるようになった。同社製品を必要とされる患者さんには、麻痺や変形などの症状が重く、高い技術が要求されるケースもあるが、熟練工がこれまで以上に技術開発に取り組むことができるようになったことで、同社全体の品質向上が実現している。また、オーダーメイド品についても短納期対応が可能になり、多様な要望に応えられる企業として多くの需要を獲得している。



インソールの切削工程

従業員の働き方改革と非熟練工の人材活用を実現

インソール製作システムの導入により、作業工程の削減、作業時間の短縮による従業員の残業時間が減少した。また、高い熟練性が必要な足模型の製作やインソールの二次加工に関しても、相応の技術を持った工具であれば作業が可能となり、働き方改革関連法への対応や人材教育にも取り組めるようになっている。実際に、様々な学会・セミナー・講習会等への積極参加を奨励するなど、働く環境整備と意識高揚にも努め、担い手の維持、確保がなされている。



ドイツマイスターを迎えての社内講習会